

子どもの頃の好奇心を大切に 12



孫の誕生日のお祝いに、一人乗りのおもちゃの車をプレゼントした。孫は、大喜びである。すぐに車に乗って前後に進んだり、タイヤを眺めたり、ハンドルについているボタンを押して、音を出したりなど楽しそうである。孫の目はおもちゃの車に注がれて、ドキドキしながら好奇心いっぱいに遊んでいる。

子どもは、いろいろな物・事に対して、好奇心旺盛であり、面白さ・楽しさ・嬉しさを求めて、すぐに行動できる。感情表現も豊かである。

しかし、人は、子どもから大人になるにつれて、少しずつ心の中にある好奇心の扉を閉めてしまう。あなたは、扉を閉めていませんか。

子どもの頃を思い出して、好奇心の扉を大きく開けてみて下さい。そして、面白いこと・楽しいこと・嬉しいことをたくさん感じ、できることから行動し、生き生きとした毎日を過ごしましょう。



おもしろいことだらけ 73



俳優の里見浩太郎さんが出演した番組で、司会者から「長生きのコツは、なんですか。」と本人が聞かれて、即座に、「おもしろいと思うことです。花を見ておもしろい。何でもおもしろいと思います。」と話された。里見浩太郎さんの日常のいろいろなことに対する、おもしろいと思う感性が、素晴らしいと思います。その番組中本人は、笑顔で、楽しまれていました。

里見浩太郎さんは、よくおもしろいと思われるので、好奇心旺盛なのです。好奇心は、いろいろな発見をしたり、楽しさを見つけたり、積極性を育てたりする、素晴らしい心です。好奇心は、人生を豊かにしてくれます。ちなみに私の母も好奇心旺盛で、長生きです。

皆さんは、最近何かに対して、おもしろいと思ったことは、ありますか。おもしろいと思ったことはない。仕事が忙しすぎて、そんなこと思う暇がない。おもしろくないと思うことが多い。このような人は、いつの間にか、好奇心の扉を閉めてしまっているのかもしれない。

朝出会った犬の仕草が、おもしろい。テレビ番組のドラマの展開が、おもしろい。今やっている仕事内容が、おもしろい。同僚が話す言葉が、おもしろい。子どもたちの遊びが、おもしろい。このように、よく見ると世の中は、おもしろいことだらけなのです。

そのことに、なかなか気がつかないのです。扉を閉めてしまっている人は、扉を開けて、どんな小さな事でもいいから、おもしろいことを見つけて下さい。毎日三つ探してみるのも、いいかもしれません。おもしろいと感じる感性が、仕事・家庭・人間関係・人生を豊かにしてくれます。世の中よく見ると、おもしろいことだらけなのです。



楽しいことは元気のもと 118



毎日会社・工場等で、一生懸命働くと、仕事が終わる頃には、心も身体もくたくたになります。元気のエネルギーが、仕事に費やされ、なくなったのです。

車に例えると、長い距離を走りすぎて、ガソリンがなくなってしまう、走れなくなります。人の心や身体もこれと同じなのです。毎日毎日辛い仕事を頑張ると、元気のエネルギーが、どんどんなくなってしまう、最後には、身体が動かなくなったり、大きな病気になったりします。

車のガソリンを補給するように、心や身体に、元気のエネルギーの補給をしなければなりません。

そのためには、**自分にとって、楽しいことをすることです。楽しいことは、元気のもとなのです。**楽しいことをした後は、心も身体も元気のエネルギーで、いっぱいになり、気力が充実します。

- ☆ 大好きな釣りをする
- ☆ 仲間と楽しく食事会をする
- ☆ スポーツジムで、気持ち良く汗を流す
- ☆ 趣味のクラブに参加し、楽しむ
- ☆ 家族で、公園や遊園地で、いっしょに遊ぶ
- ☆ 一人で国内旅行を楽しむ
- ☆ 仕事の帰りに、同僚と楽しくお酒を飲む
- ☆ 家で、ゆっくりと好きな本を読む
- ☆ 楽しく散歩したり、ジョギングしたりする

自分にとって、楽しいことを、日々の空いた時間や休みの日を活用し、積極的に行ってください。心も身体もウキウキ・ワクワクして、気持ちと身体がスッキリし、元気のエネルギーで、いっぱいになります。



好奇心で首を突っ込もう 332



好奇心があって、いろんなことに、首を突っ込む人がいます。
こんな人をあなたは、どう思いますか。

自分のことに首を突っ込まれると、干渉されるようで、嫌に思うかもしれません。
よく人の話に、首を突っ込む人は、周りの人から少し敬遠されるかもしれません。

しかし、首を突っ込む人は、好奇心旺盛で、どんなことにも興味・関心が高いのです。
いろんなことに対するアンテナが高く、もっとたくさんを知りたいのです。
たくさんのことを学んで、自分をもっと成長させたいのです。

好奇心を育てるポイントを紹介します。

- ☆ 自由に表現・行動できる場の雰囲気をつくる。
- ☆ 多様な好奇心を認める。
- ☆ 好奇心を感じる感性を高める。
- ☆ 生活・仕事を楽しむ。
- ☆ 好奇心あふれる言動をほめる。
- ☆ 好奇心あふれる言動を記録する。

好奇心あふれる人は、日々が学びの連続です。
遠慮せず、いろんなことに、首を突っ込みましょう。

自分の心に楽しいと感じることに興味・関心を持って、多くの人の話を聞いたり、パソコンなどで調べたりしましょう。
そして、いいことはすぐに、行動に移しましょう。

そうすれば、あなたの好奇心が、さらに高まってくることでしょ。う。
好奇心は、あなたにとって味方であり、人生の先生なのです。



知らない世界はおもしろい 333



マツコとゲストが1対1でサシトークをする番組「マツコの知らない世界」があります。この番組は、あらゆるジャンルのゲストが登場し、トークを繰り広げます。ゲスト自ら得意ジャンルや、現在ハマっているものを企画として持ち込み、マツコにプレゼンしていくというスタイルの番組です。

バレンタインデー間近に、心を込めて送る素敵な包み方を、笑顔に萌えまくる武田真理恵さんが、スツと美しく開くラッピングをご紹介されました。

- リボン残し包み(リボンをほどくことなく、開けられるラッピング)
- 組み合わせ包み(ワインを贈る時に、オススメのラッピング)
- 飾り付き包み(アクセサリを贈る時に、オススメのラッピング)
- 被せ包み(傘など、細長い物を贈る時に、オススメのラッピング)
- キャンディー包み(凸凹した形の物、ぬいぐるみなどを贈る時に、オススメのラッピング)

見ていて初めて知ることばかりであり、工夫されたラッピングに大変驚きました。いつも見ても、世界には知らないことだらけで、おもしろいと思いました。

自分の知らない世界に、目を向けて毎日をワクワクドキドキしたいものです。今の自分だけの世界から、知らない世界を積極的に見つけて、楽しみましょう。

知らない世界を、見つける方法を紹介します。

- ☆ インターネット活用し、見たり調べたりする。
- ☆ 映画やテレビを見て、知らない世界を知る。
- ☆ 海外旅行・国内旅行で、未知の地域等を知る。
- ☆ デパート・スーパーなどで、おもしろい物を見つける。
- ☆ 新聞・本を読み、知らない情報を知る。

これ以外にも、たくさん方法があると思います。知らない世界は、おもしろいことだらけです。

知らない世界をたくさん知り、楽しみましょう。
毎日が、ワクワクドキドキ感で、いっぱいになります。



古いものから学ぼう 499



皆さんは、「そんなの古いよ」という言葉で、古いものをバカにしたり、批判することはありませんか。

- その洋服の型は、古すぎて今に合わない
- あなたのその考え方は、古くて、今の人の考えに合わない
- あの機械は、古くて役に立たない
- 昔からの伝統は、古すぎる
- 古い歴史は、今の時代には学ぶ必要がない
- あの人は、長生きで古い人間だ

このようなことを、平気で言っていないですか。

もしそうであれば、古いということが、どうして不定されるべきものなのかを、ちょっと考えてみて下さい。

現在は、確かに新しいものや技術、考え方などが、次々と生み出されている時代です。これらの新しいものも、突然生み出されたのではないのです。

例えば、今誰もが使っている携帯電話は、家庭用の電話機 → ショルダーフォン → ポケベルと進化して、携帯電話が誕生しました。

古い機械の進化の上に、今の携帯電話があるのです。

おそらくこれから、携帯電話はさらに、進化していくことでしょう。

現在の日本の平和においても、昔の武家時代、武士時代、戦争時代などを経て、今の平和の礎があるのです。

中国春秋時代の思想家(儒教の開祖)の孔子は、「故きを温ねて新しきを知れば、もって師たるべし」と言葉を残しています。

これは、古い伝統や歴史に学び、新しいことがらを理解すれば、人々の先生たる資格があるだろう、という意味です。

古いものには、大きな価値があるのです。

学ぶべきものが、たくさんあるのです。

今の新しいものは、古いものの礎の上に、あるのです。

古いものだけバカにせず、古いものに大きな価値を見だし、謙虚に学ぶことが、新しいものを創造していく、大きな力となるのです。



好奇心いっぱいの子どもたち 529



子どもたちは、誰でも好奇心いっぱいです。珍しいことや不思議なことに興味・関心を持ちます。子どもたちの心が、ウキウキワクワクするのです。すぐに自分で触ったり、聞いたり、見たり、調べたり、作ったりなどします。行動力が素晴らしく、いろいろな発見もできます。危ないことや気持ち悪いことなども平気です。

ここで、好奇心いっぱいの子どもたち(小学生)の様子を紹介します。

- シオマネキの観察を行いました。すぐ穴に入ってしまうシオマネキをなんとか捕まえようと必死でした。学校に帰ってきてからは、「楽しかったカニ〜」「トイレに行ってきますカニー。」とカニさんになっていました。
- みのだ農園では、みかんがりをしました。みのだ農園の方に質問するときには、「みかんは、いつ頃からなるんですか。」「どうして、緑色なんですか。」など質問がつきませんでした。
- 雨の日が多く、なかなか外へ遊びに行けない子どもたちです。最近、けん玉遊びが少し流行っていて、昼休みには校長先生のところへけん玉の昇級試験を受けにいています。びっくりするような技ができる子もいて、感心させられています。
- 生活科の学習で虫探しをしました。バッタやチョウ、ダンゴムシ、テントウムシなどを見つけて観察をしました。さらに、図書館の本で、それぞれが見つけた虫のことについて調べて、どのような環境で飼うといいのかを班で相談しながら虫のすみかをつくっていました。バッタを飼っている班は、バッタが好みそうな草を探して入れていました。しばらくすると、「先生、見てー！！」と子どもたち。バッタが草を食べています。「初めて、草を食べているところを見ました！」と目を輝かせて教えてくれました。身近な生き物でも、よく観察してみると発見がたくさんあります。もうしばらく虫のひみつを探っていきます。
- 消防署の人は、重い服を着て、人を助けに行くことがすごいなあと思いました。僕も人を助けられる人になりたいです。プロの消防士さんの着替えが早すぎて、僕はできないなあと思いました。消防士さんはやっぱりすごいなあと思いました。火事現場で使う道具を見せてもらって嬉しかった。新しくなった消防署にも遊びに行きます。

皆さんは、好奇心に溢れていますか。
大人になって、今の現実が忙しくて、単純に毎日を過ごしている人もいるかもしれません。

好奇心は、人にとって、自分が輝く原動力でもあるのです。
今からでも遅くはありません。
どんな小さなことでもいいのです。
好奇心を呼び起こし、好奇心を高めていきましょう。

ころにおもう
うきうきすることを
きょうみをもって
しらべて
はっけんしましょう

聞くと知識が増え自信になる 734



誰もが知っていることを、人に教えてもらうのは、大変恥ずかしいです。こんなのも知らないのか、と見下されたり、軽蔑されたりするからです。

しかし、そのまま聞かないでいると、知らないことだらけになります。何事も上手くいかなくなります。

ことわざに「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」があります。
これは、「知らないことを人に聞くのは、そのときは恥ずかしいと思っても、聞かなければ、一生知らぬまま過ごすことになるので、そのほうが恥ずかしい。知らないことを恥ずかしがったり、知ったかぶったりせずに、素直に聞いて学ぶべきだ」という教えです。

仕事において、新入社員は、知らないことばかりで、毎日が学びです。何も聞かないでいると、仕事に支障が出て、「あの人は、仕事ができない」と、レッテルを貼られるかもしれません。

そうならば、「聞く恥」など気にせずに、分からないことを周りの人に、積極的に聞きましょう。

分からないことが分かるようになり、知識が増えていきます。知識が増えていくと、自分の自信にもなるのです。

1日5回聞いて、5つ知識を増やしていくと、1年では、 $5 \times 365 = 1825$ となり、1825の知識が、増えることになります。聞かない人と聞く人では、大きな違いができるのです。

イギリスの哲学者であるバートランド・ラッセル（19～20世紀）は、「幸福になる秘訣は、できるだけ色々なものに興味を持ち、物事であれ、人間であれ、興味を感じるものを無視せず、できるだけ好意的に接することだ」と教えています。

このことは、好奇心旺盛に生き、疑問を持ち、それを詳しい人に質問することが、大切であると教えています。

また、その行為が幸福の秘訣になる、と言っています。

毎日疑問に思った事を、積極的に聞きましょう。
聞くことで知識が増え、自信になり、幸せにつながるのです。



「面白そうだ」やってみよう 735



よちよち歩きの赤ちゃんを見ていると、面白いことに気がつきました。部屋中を歩いて、いろいろなことにチャレンジしています。

- おもちゃのブロックの所に行き、ブロックを触って遊んでいる。
- バックが置いてある所に行き、バックの中身を出して遊んでいる。
- 部屋の扉の所に行き、何回も扉を開けたり、閉めたりして遊んでいる。
- おもちゃの車の所に行き、車を触って動かして遊んでいる。
- お兄ちゃんの所に行き、お兄ちゃんを触ったりして遊んでいる。

赤ちゃんは、面白いものを見つける天才なのです。

面白いものを見つけると、そこまでよちよちで歩いて行き、触ったり、動かしたりなどチャレンジをします。

赤ちゃんは、面白いことを見つけ、チャレンジすることが、大好きなのです。

大人も赤ちゃんのように好奇心を持って、面白いものを見つけ、やってみましょう。

- ☆美味しそうな店を発見して、食べ歩く。
- ☆いろいろな地域芸能の感動的な様子を、写真撮影して回る。
- ☆やったことのない油絵を習い、描いてみる。
- ☆可愛い野良猫を見つけ、触れあう。
- ☆お見合い大作戦に参加する。

どんなことでもいいのです。

直感で面白そうだと感じたことを、思い切ってやってみましょう。

年だから、やったことがないから、難しそうだからと思わないで下さい。単純に「面白そうだから、私にもできる」と信じて、やってみましょう。きっと人生が、実り多いものとなるでしょう。



自分から進んで吸収しよう 748



学校での算数・数学の授業は、主に次の様な流れです。

- ①先生が、問題を子どもに出す。
- ②子どもは、自分なりに問題を考える。
- ③子どもが、考えを発表する。
- ④子どもの発表をもとに、先生が良い答えを導く。
- ⑤まとめと練習問題をする。

このような授業を長い間受け続けます。

他の教科もほぼ同じような授業の流れです。

この授業では、子どもが考え発表することはいいのですが、先生主導であり、どうしても子どもの主体的に学ぼうとする姿勢が、弱い傾向にあります。

このような授業を受け続けた子どもは、学ぶことに対して、受け身になってしまいます。それが子どもから大人になるまで続くと、誰からか何かを教えられるまで、じっと待つだけの人になってしまいます。

これでは、自分から進んで学ぶことをしようとしません。

大人になっても学ぶことができない人に、なっているのです。

仕事などでは、考えても答えが出ないものが、たくさんあります。

答えの出ないものは、自分の足を運んでいって、尋ねるとか、いくらでも方法があるので

です。

自分から答えを出したい、なんとかしたいと強く願う志がなければ、先に進みません。

志があれば、暇を見て、自分で足を運んで、多くの人に教えを請うことができるのです。

私も次の様なたくさんのことを、学ばせていただきました。

- ☆理科の専門の先生の自宅を訪ね、「科学展のまとめ方」を学びました。
- ☆算数のベテランの先生の研究室を訪ね、「算数論文の構成」を学びました。
- ☆版画で有名な先生の自宅を訪ね、「木版の彫り方・刷り方」を学びました。
- ☆算数サークル・版画の会に参加し、「基本的な技術や子どもへの指導の仕方」を学びました。
- ☆休暇を取り、自費で東京開催の研究発表会に参加し、「新しい学習指導のあり方」を学びました。

このような学ぼうとする行動が、大変役に立ちました。

自分の活力のエネルギーになりました。

人とのふれあいもあり、人間的にも多くの学びがありました。

みずから海綿体のように、何でも吸収しましょう。

吸収するぞという志を、強く働かせましょう。

自分の方から進んで、吸収に行きましょう。

吸収すればするほど、成長した大きな人間になれるのです。

楽しいと上手いく 838



みなさんは、増田明美さんを、知っているでしょうか。
女子マラソンランナーとして活躍し、13年間に残した記録は、日本最高記録12回、世界最高記録2回を、更新しました。
しかし、その間ロス五輪では、メダルを期待されましたが、無念の途中棄権をしました。精神的に追い込まれた時期も、あったのです。
現在は、執筆活動・マラソンの中継の解説、ナレーションなどで活動されていて、選手の側に立った、優しい言葉かけが、大変魅力的な方です。

増田明美さんの好きな言葉に、「知・好・楽（ちこうらく）」があります。

「これを知る者は、これを好む者に如かず、これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」という、論語の教えを、一言で表したものが、「知・好・楽」です。

これをスポーツに例えると、そのスポーツを知っているだけの人は、スポーツを好きな人には、かなわない。
さらに、そのスポーツを好きなだけの人は、スポーツを楽しんでいる人には、かなわない、ということになります。

日々のスポーツを、義務感でやるのではなく、そのスポーツを好きだ、という気持ちを持つ。
すると、努力を努力と感じることなく、練習に没頭することができる。
さらに、自然と上達して、自信になり、それが楽しさに繋がっていきます。

みなさんの中で、仕事に対しても、「好きで楽しいから、やっている」と言い切れる方は、どれくらいいるでしょうか？
日本にも「好きこそ物の上手なれ」、という言葉がありますが、好きで楽しいから、やり続けていることを、「努力」とは言いません。
好きで楽しいから、やり続けることで、結果、その道の大家となっていくのです。
これは、至極当然といえます。

楽しいと、心も頭も体も、リラックスできます。
楽しい方向に、ベクトルが向き、最大限に心も頭も体も動き、効果・成果を発揮できるのです。
このように、楽しいと何でも、上手いくのです。

増田朱美さんの、もう一つの好きな言葉に、「良い結果は、ハッピーの時、生まれる」があります。
楽しいとハッピーに、なれるのです。
自然とあなたの持っている、最高の力を発揮できるのです。